



犬猫パートナー通信は、パートナー登録事業所から飼い主の皆様へ、県内譲渡の日程、ペットを飼う上で知っておいてほしいことなどをお届けする情報紙です。

犬猫の譲渡を受けるには

県内では以下の行政施設で犬猫の譲渡を行っています。
譲渡をご希望の場合、まずは各施設のホームページをご確認ください。
施設ごとに、譲渡を受ける要件や守るべき項目が決められています。

地域の模範的な飼い主になってくれる人にもらわれないにや〜

群馬県動物愛護センター



※ご不明な点がありましたら、
直接センターへ
お問合せください。
☎0270-75-1718

前橋市動物愛護管理センター



4月28日に
新たに
開所しました!!

高崎市動物愛護センター



ペット防災について考えよう!

緊急の際には、
人命を最優先に、
ペットの避難について
考えるにやん。

Question 1 災害用のペットの備蓄、何を準備すればいいのかな?

間違えているものを1つ選んでね。

- ① ペットシーツや脱臭袋
- ② エサや水
- ③ 薬や療法食
- ④ 生肉



災害が発生してから本格的な公助が始まるまでに、1週間ほどかかります。エサなどの日常生活に必要なものは、日頃から少なくとも5日分、できれば1週間分備えておきましょう。

※公助…災害時における、国や自治体による公的な支援

薬などは災害時には手に入りにくいので、普段使用している量に数日分余裕をもって備えておくとう安心です。

トイレ用品は、犬ではペットシーツ、猫では猫砂など、普段使用しているものを持ち出せるように準備しておきましょう。



予期せぬ災害では、
人と同じように
ペットにも事前の備え
が大切わん。



県では、ペット防災手帳を配布しています。
避難先や預け先、万が一迷子になってしまった時に、ペットのことを伝える手段として、ペット防災手帳を作りませんか?



Question 2 ペットとの同行避難、何を気を付けなければならないの?

間違えているものを1つ選んでね。

- ① クレート(キャリー)を使用する
- ② まずはペットを野に放つ
- ③ しつけや訓練をしておく
- ④ 定期的にノミダニ駆除をしておく



避難所等の安全な場所に、ペットと避難することを同行避難といいます。

同行避難では、クレート(キャリー)の使用がおすすめです。普段の生活や遊びに取り入れ、慣れさせておくことで、避難時のストレス対策にもなります。

普段から慣れさせることで、慣れない避難先でも、ペットにとって安心できる場所になるのね。

避難先でトラブルを防ぐために、基本的なしつけや、他の人・動物を怖がらないよう訓練することも大切です。



災害はいつ起きるかわかりません。

定期的な健康診断やシャンプー・トリミング、ノミ・ダニ駆除など、普段からペットを、健康・清潔に保ちましょう。



<クイズの答え> Q1: 間違いは④ Q2: 間違いは②